

# 柏葉会総会に寄せて

長崎県立佐世保南高等学校 校長 松井 裕次

平成29年度柏葉会総会の開催、誠におめでとうございます。

創立70年目を迎える県下有数の伝統校である佐世保南高等学校の同窓会が、本部はもとより、全国にその組織を広げ会員相互の親睦と連携を深めながら活動されていることは、在校生のみならず、現在勤務している教職員にとりましても、大きな励みでもあり誇りでもあります。柏葉会におかれましては、折々の学校行事に際しての温かい励まし、部活動奨励金等のご惠贈、平成26年度にはマイクロバス「柏葉会号」の贈呈など、物心両面での多大なるご支援を賜っております。この場をお借りして、衷心よりお礼を申し上げます。

さて、母校の現況を3点お話しいたします。

1点目は、先月の県高校総体等での部活動の活躍に触れさせていただきます。

まずは、バスケットボール女子のインターハイ出場です。県新人大会の初優勝に続き、県高校総体でも悲願の初優勝を成し遂げました。これまで何度もはね返されてきた長崎西という大きな壁を、遂に突き破ったのです。創立以来の部の歴史はもちろん、この種目で、県北に初の優勝旗をもたらしました。苦しくても誰も下を向かない、決勝後半の修正力に大きな成長の跡が見られました。福島インターハイの活躍が楽しみです。

そして、バレーボール男子の第3位です。春に続く九州大会出場はなりませんでしたが、準々決勝、準決勝はバレーボールの醍醐味を魅せてくれた痺れる試合展開でした。大きなビハインドを追いつく底力を見せてくれました。若いチームなので、来年が楽しみです。

また、ソフトテニス女子が4回戦進出でベスト8、サッカーの3回戦進出も見事でした。

水泳部が5種目で九州大会出場を決めました。野球部も6月のNHK杯で県大会に進出しました。文化面では邦楽部が5年連続で全国総合文化祭宮城大会への出場を決めています。

2点目は、修学旅行です。去年は津波の再来でコースを変えましたが、福島に足を伸ばすのは、今年で4回目です。生徒は若い感受性で震災を受けとめ、自分自身を振り返ることになります。「誰かのためになれる自分を探すこと」が大切であり、それが「志」につながると考えます。去年は熊本で震災がありました、実家へ避難してきた南高OBの熊本の学生が、全校生徒に熊本の被害の状況を語り、それに呼応するように生徒会が募金運動を展開しました。福島での学習が彼らを動かしたのです。また、東京のホテルでは、東京柏葉会の先輩方が駆けつけられ、ご挨拶と東京柏葉会の紹介をいただいています。

3点目は、「70周年記念事業」のお知らせです。一昨年から準備を始め、実行委員会の組織づくり、記念事業・記念講演の計画、ロゴマークやスローガンの公募、同窓生の皆様への趣意書の発送と、準備を進めて参りました。記念式典は平成30年9月22日です。70周年を機に南高と柏葉会への求心力を高め、生徒たちに先輩方への感謝の気持ちはもちろん、同窓会の意義を考えさせたいと思っています。同窓会は懐かしい高校時代の思い出を共有し、元気や勇気をもたらうだけでなく、新しい発見や出会いに気づき学び続ける場所でもあります。また、社会で活躍されている先輩方とのつながりやネットワークに加わるという意義もあります。社会とは個の力だけでものごとを成し得ることはありません。世代を超えて助け合うことの大切さも学びたいものです。

最後になりますが、柏葉会のますますのご発展と、会員の皆様のご健勝ご多幸を心よりお祈り申し上げます。ご挨拶といたします。